

ご挨拶



現在、「経済の更なるグローバル化によるビジネス環境の変化と競争の激化」「少子高齢化による市場縮小と労働力減少」「新型コロナウイルス感染拡大によって加速されたデジタル化」「地球環境問題の深刻化」「国際情勢の不安定化」など、社会や経済は急激かつ大きく変化しています。このような中、ものづくり関連企業が、この変化に対応し成長発展していくには、価値創出の基盤となる製品開発力や加工技術、生産技術の強化に加え、新たな技術の導入が重要です。

福岡県工業技術センターは、中小企業を中心とする県内企業を技術面から総合的に支援して成長・発展へ導き、その積み重ねを以て県内産業振興に貢献することを使命としています。そして、「研究開発」「人材育成」「技術相談・試験分析」「交流・連携」「情報発信」の5つを基本業務に位置づけ、これらを有機的に組み合わせることで、効率的・効果的な支援に努めています。

また、重点的な取り組みとして、化学繊維研究所に「高分子材料開発支援ラボ」、生物食品研究所に「ふくおか食品開発支援センター」、インテリア研究所に「家具試作・評価支援ラボ」、機械電子研究所に「デジタル化実証支援ラボ」といった開発支援拠点を整備し、これらを中心に、製品や技術の開発支援と技術人材の育成に力をいれています。

このたび、これらの支援業務を通じて、新たに製品化や事業化ができた成果を整理し、令和4年度版「福岡県工業技術センター 概要と成果」を取りまとめました。概要部分では、各組織が担当する技術分野や支援機能を掲載しておりますので、技術開発などを行う際に参考にさせていただきたいと思います。

私ども福岡県工業技術センターは、「“創る”を“共に” 福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」をキャッチフレーズに、県内企業1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでまいります。加えて、将来を見据えた技術の蓄積にも取り組み、その技術を企業のみならずみなさまにご活用いただくことを通じて、福岡の未来を切り拓いていきたいと考えています。技術的なお困りごとの相談のほか、研究開発、ものづくりを担う人材の育成等、様々な技術支援を行うハブとして活動を行ってまいりますので、積極的なご活用をお願い申し上げます。

令和4年10月

福岡県工業技術センター 所長 櫻谷 洋一